

令和8年度 第1回 南部中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年5月28日（木） 14時30分から16時00分まで
- 2 開催場所 南部中学校 多目的室
- 3 出席委員 柳川 樹一郎、清水 哲夫、寺澤 敏、田口 博、蓑 悦子、土屋 善次郎、
久米 真弓
- 4 欠席委員 北村 武之、杉浦 秀典、鈴木 健吾
- 5 学 校 野中 崇（校長）、都築 哲（教頭）、鈴木 健太（主幹教諭）、
山崎 孝依（事務職員） 三高 奈緒子（CSディレクター）
- 6 教育委員会 清水 悠（学校・地域連携課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 三高 奈緒子
- 9 会長の選出

清水委員が会長を務めることを申し出、全員意義なくこれを承認した。

10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、柳川委員から清水委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）学校運営基本方針について
- （2）いじめ防止等のための基本的な方針について
- （3）夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について

12 会議記録

司会の主幹から、委員総数10人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校運営基本方針について

校長から別紙資料に基づき学校運営基本方針について以下の通り、説明があった。

南部中は「希望のまなざしに包まれ、誰もが居場所のある学校」を経営理念に掲げ、学力保障やいじめの早期発見・対応、個に応じた支援といった7つの重点施策を通じて、生徒と教職員が共に成長できる活気ある学校づくりを推進します。

委員からは以下の発言があった。

- ・白脇小学校には発達支援級がありません。対象児童が遠方の竜禅寺小学校や砂丘小学校へ通わざるを得ず、保護者の送迎の負担が大きいことや、地域で子供を育てるという観点から問題があります。白脇地区では年間100～200戸の住宅が増えており、児童数が増える可能性があります。（柳川委員）
- ・小さいうちから支援が必要な子と接することは大事なことだと思います。（蓑委員）
→南部中では普通級の生徒が発達支援級の生徒を自然にサポートしており、それが豊かな人間形成に繋がっていると思います。（校長）
- ・特定の科目は得意だが読み書きに困難があるなど、学習障害(LD)の可能性のある生徒に対し、北分校や江之島分校、通信制高校などの選択肢があるものの、合格内定の時期が9～10月頃と早いことや併願のルールが不透明であることに、保護者が非常に悩んでいる現状があります。

より詳しい情報提供や早い段階での相談体制が充実されればと思います。(土屋委員)

→3年生の担任や進路指導主事に早期の進路相談をしていただきたいです。(校長)

- ・PTAの会議を授業参観日の昼間に設定するなど、保護者の負担を減らすと同時に、先生方の残業削減につながるような工夫をPTAでも検討したいと思います。(久米委員)
- ・トクリュウ(匿名・流動型犯罪グループ)による強盗事件に高校生が加担しているニュースを見ますが、最近の中学生はテレビよりもYouTubeやTikTokなどを視聴しており新聞を読まないで、中学生のうちからこうした犯罪に巻き込まれないよう、教育委員会や学校からの指導を強化してもらいたいです。(柳川委員・清水会長)
- ・校長が職員向けに発行している南中新聞は、インパクトが強く興味深いと思いました。地域の安心感に繋がるため外部へも積極的に発信してほしいです。(清水会長)

(2) いじめ防止等のための基本的な方針について

教頭から南部中学校いじめ防止基本方針について説明がされ、委員から以下の発言があった。

- ・昨年度のいじめ認知件数の考え方について伺いたいです。(柳川委員)
→本人が嫌だと感じたことは、些細なからかひやSNSでのトラブルを含め、すべていじめとして認知し深刻化する前の早期対応をしています。認知件数は、生徒が先生に悩みを打ち明けられる信頼関係がある証であり、教員が小さな変化に気づけている結果であると捉えています。子供が一人で悩まず周囲に相談できている環境を維持し、問題が小さいうちに対応していきたいと考えています。被害者のニーズに立った指導、加害者・保護者にも寄り添いながら週1回のいじめ対策委員会で組織的に対応しています。(教頭)
- ・全く同じことをされても相手が好きな人が嫌いな人かという人間関係の土台によって、それがいじりとして許容されるか、いじめと受け取られるかが変わってしまいますね。(田口委員)
→「いじり」と「いじめ」の境界線は難しいものの、受け手が嫌がれば「いじめ」とみなして毅然と指導する方針です。(教頭)
- ・テレビのお笑い番組やドラマにおける「冷やかし」や「いじり」が子供たちの判断基準に悪影響を与えているかもしれないと思います。(清水会長)

協議の結果、全員意義なくこれを承諾した。

(3) 夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について

教頭から夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について、以下の2つの用途に充てられることが報告された。

- ・学校門への横断幕の設置(生徒の部活動などの成果を地域に伝えるため)
- ・合唱コンクールにおける講師の招聘(合唱の指導と開催当日の審査も行ってもらう)

委員からは以下の発言があり、全員意義なくこれを承諾した。

- ・合唱コンクールとなると生徒たちは非常に真剣に取り組み、クラスが団結して思い出作りをする姿に感動します。特に3年生は素晴らしく自分たちの成果をしっかり形にしています。(柳川委員)

13 その他報告事項

司会から、次回会議は、令和8年11月19日(木)午後1時40分から多目的室で開催する旨の報告があった。次回議長は田口委員にお願いすることで、本人を含め参加した委員全員が承諾した。